

令和7年度		日野市立 日野第四小学校		経営重点計画		自己評価シート		令和7年6月公表				
★学校の教育目標							★重点計画の概要					
★目指す学校像（ビジョン）							（１）文部科学省研究開発学校として、「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」を学校標語とし、学びの変革プロジェクトの探求的な学びを充実させることで、児童一人ひとりが多様な学び方を身に付け、深く学ぶ力を向上させる。 （２）多様な関わり、対話の工夫を通して、“いのち”の教育を推進し、道徳教育・生活指導を充実させる。 （３）体力・運動能力調査、意識調査から児童の強味・弱みを把握した授業実践を通して、体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを向上させる。また、食育の推進により健康な体づくりに資する。					
【目指す児童像】												
【目指す学校像】												
【目指す教師像】												
○ すすんで学ぶ【自己決定力】							○ 助け合う【人間関係形成力】			○ 楽しく運動する【実践力】		
○ 児童が、互いに支え合い、違いを認め合い、自分の成長に自信がもてる学校							○ 保護者・地域住民の方々が、安心して子供を通わせ、自らも参画する学校					
○ 児童理解に基づき、組織の中で強みを発揮することができる教師												
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準								
				取組指標			成果指標					
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	児童一人一人の実態に応じた多様な学びや学び方を実現できる授業づくりを行う。	自分で考え、すすんで学ぶ自己決定力を育てるため、「できる楽しさ・分かる楽しさ・認められる楽しさ」を実感させる授業を推進する。	・チーム担任制の実施 ・教科担任制、一部教科担任制の実施 ・自由進度学習の推進 ・マイプランスクールのさらなる充実 ・一人1台の学習者用端末の活用 ・学力調査・意識調査から児童の弱み・強みを把握した授業実践	4 児童が決める・選ぶ、進める学習を年間3回以上実践した教員が90％以上			4 アンケートで、授業が「できた・分かった」と答えた児童が90％以上					
				3 児童が決める・選ぶ、進める学習を年間3回以上実践した教員が80％以上			3 アンケートで、授業が「できた・分かった」と答えた児童が80％以上					
				2 児童が決める・選ぶ、進める学習を年間3回以上実践した教員が70％以上			2 アンケートで、授業が「できた・分かった」と答えた児童が70％以上					
				1 児童が決める・選ぶ、進める学習を年間3回以上実践した教員が70％未満			1 アンケートで、授業が「できた・分かった」と答えた児童が70％未満					
	体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを意識した授業を全校で実施する。	最後までやりぬく実践力を育てるため、多様な関わりを通して、児童の興味や創造性、感性を生かすよう、運動や遊びを工夫する。	・体力・運動能力調査、意識調査から児童の強み・弱みを把握した授業の実践 ・体力向上に向けた全校取組の実施（持久走・縄跳び旬間等） ・第四幼稚園との連携・交流活動	4 児童の興味や創造性、感性を生かす授業や活動を月1回以上実践した教員が90％以上			4 アンケートで、「体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを味わうことができた」と答えた児童が90％以上					
				3 児童の興味や創造性、感性を生かす授業や活動を月1回以上実践した教員が80％以上			3 アンケートで、「体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを味わうことができた」と答えた児童が80％以上					
				2 児童の興味や創造性、感性を生かす授業や活動を月1回以上実践した教員が70％以上			2 アンケートで、「体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを味わうことができた」と答えた児童が70％以上					
				1 児童の興味や創造性、感性を生かす授業や活動を月1回以上実践した教員が70％未満			1 アンケートで、「体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを味わうことができた」と答えた児童が70％未満					
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	自分たちで考え、語り合いながら解決策を生み出す探究活動・自治的活動を推進する。	思いやりをもち、助け合う人間関係形成力を育てるため、互いに支え合い、違いを認め合い、自分の成長に自信をもつことができる仲間集団をつくる。	・児童一人一人の思いや願いをかなえる学級会の実践 ・マイプランスクールで探究した内容を伝える機会（マイブラフェスタ）の設定 ・異年齢の仲間集団で、ルールを作りながら楽しく活動する「委員会・クラブ・たてわり班」の実施	4 児童が考え、語り合いながら解決策を生み出す授業や活動を月1回以上実践した教員が90％以上			4 アンケートで、「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が90％以上					
				3 児童が考え、語り合いながら解決策を生み出す授業や活動を月1回以上実践した教員が80％以上			3 アンケートで、「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が80％以上					
				2 児童が考え、語り合いながら解決策を生み出す授業や活動を月1回以上実践した教員が70％以上			2 アンケートで、「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が70％以上					
				1 児童が考え、語り合いながら解決策を生み出す授業や活動を月1回以上実践した教員が70％未満			1 アンケートで、「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が70％未満					
	いじめ問題の未然防止・早期発見・早期対応を徹底する。	児童の心情の把握、児童理解に基づいた指導の推進によって、「分からない」と言える雰囲気、「教えて」「助けて」と言える関係、教え合い、助け合える学校風土を醸成する。	・学校いじめ防止基本方針「いじめ見逃しゼロ、SOS見過ごしゼロ」（いじめを「防ぐ」・いじめに「気付く」・いじめから「守る」）に基づく組織的な取組の推進 ・いじめ解消に向けた指導方針・計画の共通理解、当該児童の心理的ストレスや不安の解消に向けた組織的対応	4 「子供のサイン・変化を見つけるチェックリスト」等を年間を通して活用し、学年会等で報告・連絡・相談を行った教員が90％以上			4 アンケートで、「先生は気付いてくれる・守ってくれる」と答えた児童が90％以上					
				3 「子供のサイン・変化を見つけるチェックリスト」等を年間を通して活用し、学年会等で報告・連絡・相談を行った教員が80％以上			3 アンケートで、「先生は気付いてくれる・守ってくれる」と答えた児童が80％以上					
				2 「子供のサイン・変化を見つけるチェックリスト」等を年間を通して活用し、学年会等で報告・連絡・相談を行った教員が70％以上			2 アンケートで、「先生は気付いてくれる・守ってくれる」と答えた児童が70％以上					
				1 「子供のサイン・変化を見つけるチェックリスト」等を年間を通して活用し、学年会等で報告・連絡・相談を行った教員が70％未満			1 アンケートで、「先生は気付いてくれる・守ってくれる」と答えた児童が70％未満					
社会と未来に開き、みんなでつくる	わくわく（児童の疑問やおどろきから生まれる問い）が広がっていく環境をデザインする。	よりよく生きようとする、よりよい地域社会をつくろうとする児童を育てるために、地域社会の教育資源を活用し、体験的な学習活動を工夫する。	・保護者、地域、外部講師の方々との連携による農業、栽培、郷土、文化、芸術、スポーツ、ものづくりなどの特別授業の実施 ・学校Webページ等による学校における取組の発信	保護者、地域、外部講師の方々と連携した学びについて、 4 学校Webページ・授業公開・保護者会・配布物・掲示物のいずれか3つ以上で発信をした教員が90％以上			4 アンケートで、学校における取組の発信について肯定的な回答をした保護者が90％以上					
				保護者、地域、外部講師の方々と連携した学びについて、 3 学校Webページ・授業公開・保護者会・配布物・掲示物のいずれか3つ以上で発信をした教員が80％以上			3 アンケートで、学校における取組の発信について肯定的な回答をした保護者が80％以上					
				保護者、地域、外部講師の方々と連携した学びについて、 2 学校Webページ・授業公開・保護者会・配布物・掲示物のいずれか3つ以上で発信をした教員が70％以上			2 アンケートで、学校における取組の発信について肯定的な回答をした保護者が70％以上					
				保護者、地域、外部講師の方々と連携した学びについて、 1 学校Webページ・授業公開・保護者会・配布物・掲示物のいずれか3つ以上で発信をした教員が70％未満			1 アンケートで、学校における取組の発信について肯定的な回答をした保護者が70％未満					
※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。												